

第 1 回 神戸の都心の「未来の姿」検討委員会 議事要旨

項目	内容
開催日時	平成 26 年 3 月 19 日（水） 午後 3 時～午後 4 時 55 分
開催場所	神戸市役所 1 号館 14 階 大会議室
出席者	31 名（委員 28 名、オブザーバー 3 名）
議事の目的	中長期的な視点から、神戸の都心の未来の姿について様々な立場から自由に意見を交換する。
議事の内容	<p>(1) 将来ビジョンの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来ビジョンは、神戸市で策定している総合基本計画や「港都神戸」グランドデザイン等の計画と連携、整合を図りながら、都心部での未来の計画を定めるものである。 ・策定の範囲は、新神戸から三宮、元町、そしてハーバーランドに至る都心部 ・策定の検討期間は、平成 26 年度の 1 年間を目途 <p>(2) 当該検討委員会の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の方々より頂いた提案内容を踏まえながら、より都心に関連深い委員の方々より、できるだけ幅広い意見を頂くことを目的としている。 ・最終的には当該検討委員会での議論をもとに、神戸市として夢のある「未来の姿」を将来ビジョンとして取り纏めていきたい。 ・当該検討委員会のスケジュールは、2 か月に 1 回（年間 5 回程度）の開催を予定している。 ・当日の資料は事前送付し、意見交換時間をできるだけ多く確保する。 ・欠席される委員の方からは事前に意見を頂き、当日事務局が発表する。 ・当日発言できなかった意見等については、ファックスやメール等で文書を提出して頂きたい。 ・当該検討委員会は原則公開とする。事務局で議事要旨を作成の上、ホームページで公開する。 <p>(3) 提案募集結果の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年 12 月 20 日から今年 1 月 31 日に実施した神戸の都心の「未来の姿」についての提案募集を実施し、計 311 件の意見、提案を頂いた。 ・現状の神戸の都心の「良いところ」、「良くないところ」、また「未来の姿」の 3 項目について、提案頂いた。 ・上記 3 項目に対し、各提案を「景観・街並み・印象」「にぎわい」「交通環境、回遊性」「憩い」「自然」「観光・シンボル」「その他」の 6 テーマに分類した。

項目	内容
	<p>(4) 意見交換の主な内容</p> <p>①現在の神戸の都心の良いと思うところ、良くないと思うところ</p> <p>【良いところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山と海が近い。 ・子供のための環境が作りやすいところ。 ・夜間景観形成の推進が活発である。 ・ウォーターフロントから望める六甲山の素晴らしい景色 ・地上を気持ちよく快適に歩けるまち ・交通機関の利便性の良さ ・駅とまちのつながりの良さ ・色々な魅力がコンパクト（歩ける距離）に集まっている。 ・未利用熱資源（工場廃熱、海水、地下水、下水等）に恵まれている。 <p>【良くないところ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高層ビルが乱立している。 ・建物自体のデザイン性が乏しい。 ・インフォメーションセンターがわかりにくい。広報が不十分。 ・トアロードは、南北方向の人の流れが鉄道や山手幹線等で分断されており、まちのつながりが悪い。 ・三ノ宮駅と元町駅の離隔（600m）が中途半端である。 ・三宮に一極集中しているように感じる。 ・ルミナリエの集客効果が元町～三宮間だけで、回遊性に欠ける。 ・元町駅東口はエスカレーターもエレベーターもなく、高架下は汚い。 ・新神戸駅、三宮、神戸駅がターミナル機能として中途半端である。 ・神戸の魅力がいまいち伝わってこない。 ・駅に降り立ったときに神戸らしさを感じられない。 ・どの都市とも変わらない雰囲気駅前 ・乗換え経路がわかりにくい。 ・駅前のごちゃごちゃ感 ・陸海空の交通が整備されているものの、十分活かされていない。 ・神戸のまちはわかりづらい。 <p>②私が思う神戸の都心の「未来の姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族で健康生活度の高い都市という心地良いまち ・神戸独特のまちづくり ・コンドミニウムタイプのホテルを誘致し、長期滞在を促進させる。 ・加納町の交差点を車いすの方でも簡単に渡れるように整備 ・温泉（スパ）を設けて医療都市とくっつけたような環境に整備

項目	内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所をエンパイアステートビルのような高層ビルに建て替え、集客力を向上させる。 ・L R Tを整備し、車優先から人優先の環境に整備 ・J R 三ノ宮駅の北側を医療産業都市と併せて整備し、リサーチ・アンド・デベロップメントを採用 ・地理的にどのような歴史をたどり今日があるかを理解して計画する。 ・防犯の観点からも回遊性を高めたまちづくり ・「ハイカラ」をテーマとしたまちづくり ・インフォメーションセンターの場所をわかりやすく。 ・歩道上の看板や自転車等を考慮し、歩きやすい歩道を整備 ・都心の夜間景観デザインを統一感あるおしゃれなものに。 ・都心居住の方法を考え直す。 ・海・山に近いという背景を生かしたまちづくり ・三ノ宮駅と元町駅を統合してターミナルを集中化して、ウォーターフロントへのアプローチを作っていく。 ・利便性向上のために、中央区役所と勤労会館のところにバスターミナルを集約 ・六甲山頂から神戸空港までロープウェイで結び観光名所とする。 ・観光客だけでなく、居住者もウォーターフロントを楽しめる仕掛けが必要 ・統一されたテーマで都心の各地域の再整備を行う。 ・バリアフリーやユニバーサルデザイン等、高齢者等にやさしいまちづくり ・昔ながらの路面電車の復活 ・神戸の魅力を伝えることが重要 ・地下鉄の新神戸・三宮駅をリニューアルし、利便性を向上 <ul style="list-style-type: none"> ・神戸、大阪、京都がそれぞれの特長を活かしながら、関西圏が発展することを目指すべきである。 ・各地域の個性を伸ばしていくことが必要。 ・ポータルライナーの輸送力増強 ・L R Tに加え、B R Tを導入 ・三宮周辺をトランジットモール化 ・分散する各地域の個性をネットワークする。 ・インフラのメンテナンスの方法にも留意してきれいな街を維持する。 ・市民が観光客を主体的にもてなす街 ・各エリアを繋ぐインフラ整備が必要 ・各エリアの魅力を向上させた時間消費に適したまち ・未利用熱資源をコンパクトなまちの中でうまく使っていく。 ・エリア毎（特に、神戸港）に夜間景観を整備する。 <p style="text-align: right;">以 上</p>